

心のほけんだより



2024年2月2日発行 No.14 天王寺川中学校 保健室

みなさんは、友達や先生に、自分とは異なる意見を言われた時、「何言っているの」とか、「そんな意見に賛成できない」など、否定的な思いを持ったことはありませんか？

そして、その思いを、すぐに言葉に出したことはありませんか？

人はそれぞれ性格が違いうように、物事に対する思いや考え方も、それぞれ違います。

学校は集団生活です。先生や同級生、先輩や後輩とコミュニケーションをとりながら、いろいろな活動をしています。

学校生活では、いろいろな人と関わります。その関わりを通して、みなさんは心が大きく成長していきます。



人は決して一人では生きていけません。多くの人と関わり合い、助け合いながら生きていきます。

そこで、いろいろな人と関わる中で、大切にしてほしいことがあります。

それは、自分と異なる意見や価値観を否定せず、まずは、受け入れるということです。また、他人の失敗を笑ったり、とがめたりせず、その失敗を一緒に受け止めてあげる広い心を持つことです。

広い心を持ち、他を受け入れることを「寛容」(今月の品格目標)と言います。思いやりの心を持ち、他者を理解するように努めましょう。

そうすることで、みなさんの心が大きく成長するとともに、日々の生活が充実したものになります。

「十人十色」人には、それぞれ違った考えや好みがあり、ひとり一人みな違います。

「みんなちがって、みんないい」(金子みすゞ)

みなさんには、その違いを認め合うことができる人になってほしいと願っています。

みんなが寛容な心を持ち、誰もが居心地の良い学校、社会を目指しましょう！

